



おかやま環境ネットワーク

NO.84
2016.7

NEWS

発行:公益財団法人おかやま環境ネットワーク
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7
TEL/FAX 086-256-2565
E-mail:kankyounet@okayama.coop
HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/

助成活動報告会開催報告

岡山県下で環境活動を行う団体や個人が集い、日ごりの活動紹介や、相互のネットワーク形成をとおし、地域での環境活動がより広がる機会になることをめざし開催しました。

- ◆日時：5月14日（土） 13時～15時
- ◆会場：オルガ5階スカーレット
- ◆参加者：35名
- ◆内容：冒頭、野上祐作・おかやま環境ネットワーク理事から開会の挨拶があり、宮本紀子・おかやま環境ネットワーク評議員の司会で、2015年度助成全11団体からの活動報告と、質疑応答、意見交換をすすめました。

◆2015年度助成団体報告

- 1) あかいわ美土里の和「里山再生プロジェクト」
- 2) 千年の森づくりグループ「千年の森みんなで楽しめるビオトープの森つくろう！」
- 3) 共存の森ネットワーク「アマモ場再生活動と日生の漁食調査を通じた人材育成」



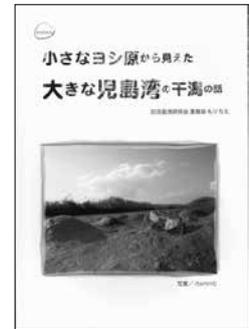
共存の森ネットワークの報告

- 4) 里海づくり研究会「沿岸海域における物質循環の促進」
- 5) 旭川源流大学実行委員会「旭川流域のオオサンショウウオ調査及び市民観察会」
- 6) 岡山野生生物調査会「旭川河口域及び児島湾の生物調査」
- 7) 中学高校環境研究会「旭川源流域での生き物・地史調査」
- 8) アユモドキ里親会「アユモドキ教本作成プロジェクト」

- 9) 児島湾研究会「児島湾漁民の特異性調査・冊子作成」



アユモドキ教本冊子



児島湾の干潟の浜

- 10) あかいわエコメッセ「第17回あかいわエコメッセ（環境企画展）」
- 11) おかやまコープ井笠エリア「今の暮らしを見直し、環境にやさしい暮らしを広めよう！」

◆参加者の感想

- ・自分の住んでいる岡山中、これほど多くの団体が活動していることに驚きました。岡山は環境に対する意識が高いなと誇りに感じました。
- ・岡山県で様々な活動を知ることができて良かった。海と川との共同で何かできたら面白いと思った。
- ・活動されている団体が沢山あることを初めて知りました。専門的な用語も分かりやすく伝えて頂き、知りたい、学びたい、守りたい、という気持ちになりました。参加できありがたい時間となりました。
- ・どの団体も地道な活動を根気強く続けておられて感心しました。
- ・若い人たちの活動を聞くことができ、元気をいただきました。水域での調査、研究が興味深かった。少しでも関わりができればよいと感じた。
- ・どの団体も熱い思いで活動されており、すごいなと思いました。刺激をもらったので、私たちも自分たちにできる活動を頑張っていこうと思いました。
- ・海、里海、山里、森づくりが多くの人々によって、取り組まれている様子がわかり多くを学べました。
- ・多くの方が環境活動に係って、専門的に取り組まれていることを知ることができ勉強になりました。
- ・回転が良く、内容も整理されていてよかったです。

全国アマモサミット 2016in 備前開催報告

『備前発！里海・里山ブランドの創生～地域と世代をつなげて～』

6月3日(金)～5日(日)の3日間、海のゆりかごと呼ばれ健全な沿岸環境の維持に欠かせないアマモ場再生活動発祥の地、備前市日生町にて、備前市立日生民会館をメイン場に『全国アマモサミット2016in 備前』が開催されました。市民や学生、漁師、行政、研究機関など全国各地でアマモ場再活動に取り組む様々な立場の人たちが3日間で延べ2,000名集い、情報共有や交流をはかりました。

◆全国アマモサミット

●6月4日(土)

備前市立日生市民会館にて開催されました。



日生中学校吹奏楽部による
オープニングセレモニー

第1部『アマモ場再生活動30年の歩み 振り返りと将来展望』

- 基調講演Ⅰ「岡山県日生のアマモ場再生の特徴 水産業の過去の教訓と経験の活用と広域的な人のつながり」九州大学大学院工学研究科准教授・清野聡子氏
- 基調講演Ⅱ「人と海に学ぶ海洋実習 日生中の挑戦」日生中学校教諭・藤田孝志氏
- 日生中学校生徒による演劇『海に種まく人々』
- 上記演劇に出てきた漁師さんたちによるパネルディスカッション

●パネルディスカッション概要:

「聞き書き」によるインタビューを舞台で再現され、日生のアマモ場再生の「主人公」である漁師さんたち一人ひとりの生の声を聞くものでした。先立って上演された演劇『海に種まく人々』の中で中学生が演じる漁師をはじめ、日生のアマモ場再生に関わる皆さんが登場されました。



日生中学校生徒による演劇

第2部『アマモ場再生への道～里海づくりが目指すもの～』

- 基調報告「沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイント・シンポジウム 我が国沿岸域におけるアマモ場再生への道 これまでとこれから 成果報告」北海道大学大学院水産化学研究院教授・今井一郎氏

●概要：岡山県備前市日生漁協は、1985年から小型定置網漁民によるアマモ場再生活動を開始し、以後30年以上にわたり、漁協としてこの活動を継続してきました。

その結果、1985年12haまで減少していたアマモ場は2011年には200ha、2015年には250haまで回復しましたが、1950年当時の590haには及んでいません。

アマモ場面積拡大にともない、小型定置網漁獲量は回復傾向を示す

ようになり、カキ養殖にも良い影響が現れるようになっていきます。これはカキ養殖とアマモ場が共生関係にあるからです。すなわち、カキ養殖場は沖合からの伝搬波の振幅を減少させ、陸岸近くのアマモ根が流出することを防止します。

一方、アマモ場は沿岸海域の夏季の水温上昇を低減させ、夏季の高水温によるカキ斃死率を減少させます。

また、アマモ葉表面に着く付着珪藻や小動物が波で剥がれ、養殖カキの良い餌となり、カキの成長率が増加します。

このようなアマモ場再生による正のフィードバック効果が日生では見られています。この成果は日生を訪れたフランスの養殖カキ漁民を驚かせ、現在フランスのカキ養殖場近傍でもアマモ場造成が進行中です。

第3部 『里海・里山ブランドの発信 地域と世代をつなげて』

■基調講演 「“里山資本主義”から“里海資本論”へ」NHKエンタープライズエグゼクティブプロデューサー・井上恭介氏

■パネルディスカッション『備前発！里海・里山ブランドの創生～地域と世代をつなげて～』

〈コーディネーター〉 笹川平和財団海洋政策研究所海洋研究調査部部長・古川恵太氏

〈パネリスト〉 井上恭介氏 (NHKエンタープライズ)、渋谷寿一氏 (認定NPO法人共存の森ネットワーク)、森本温美氏 (生活協同組合おかやまコープ)、藤井和平日氏 (笠岡市漁協)、平川忠氏 (備前焼作家)、天倉辰己氏 (日生町漁協)

●概要：岡山県備前市は、2014年に『備前らしさ』のあふれるまち』を基本理念とする第2次備前市新総合計画を策定しました。その中で里海づくりを柱とした水産業の振興が謳われ、目標達成のための取り組みとして、沿岸域の総合管理が位置づけられています。市を挙げての取り組みにまでには至っていないようです。

一方、備前市では、本サミットの第1部で見てきたように、日生町漁業協同組合によるアマモ場再生の活動の継続と展開、日生中学校の総合的な学習の時間を活用した海洋学習（アマモを学ぶ、伝える、考える）が行われています。さらにはカキ筏の廃材を用いた備前焼の作成、五味の市の設置と「ひなせかき祭り」の実施など、備前市ならではの取り組みも実施されています。

今回の全国アマモサミットを契機に、アマモ場再生を出発点として、こうした取り組みをさらに発展させ、しかしそれだけにとどまらない備前市全体が取り組む新たな「備前発！里海・里山ブランド」の創生を目指して、いかに地域と世代をつなげていくのかについての具体的な議論と、成果を共有し、次への動きに繋げるため、パネリストだけでなく会場参加者からも多くの発言がありました。

◆関連企画

■6月3日（金）『沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイント・シンポジウム 我が国沿岸域におけるアマモ場再生への道 これまでとこれから』

●概要：全国のアマモ研究者が一堂に会し、アマモ場の重要性を再認識し、アマモ場再生技術の現状と課題を総括する議論をしました。

■6月3日（金）『日生中学校による流れ藻回収大作戦』

●概要：日生沖合次世代を担う生徒たちが漂流する流れ藻を回収し、花枝を採集しました。



流れ藻回収大作戦開会式

■6月5日（日）『海辺の自然再生・高校生サミット』

●概要：岡山市立小串小学校児童による発表や日生中学校生徒による発表、笠岡工業高校の発表をはじめ、各地の高校生による活動発表と意見交換が行われました。東北から九州まで、全国から10校が参加され、報告がありました。

最後にクロージングイベトとして、田中丈裕実行委員長と高校生サミット参加生徒が大会宣言として、“里海、里山、まちが繋る「備前発！里海・里山ブランド」を確立し発展させ、自然と人が共存するためのあるべき姿を実現し、国内外に広く発信すること“を宣言し、最後に次回開催地の三重県志摩市へ引き継ぎ式を行い、3日間に渡る全国アマモサミット2016in 備前は閉会されました。

◆『全国アマモサミット2016 in 備前大会宣言』

私達は、日生の漁師たちによる30年以上にも及ぶアマモ場再生活動を振り返り、あきらめることなく続けることの大切さを知ることができました。そして地道な努力の継続によって得られた成果こそが大きな感動を生み、地域を越えて、世代をつないで活動の輪を広げることを学び、これから歩むべき道を知ることができました。

私達は、全国津々浦々の如何に多くの場所で、海を守るために、どれだけ多くの人たちが様々な活動に取り組んでいるかを知ることができました。そして、色々な立場や職業

の人たち、小学生・中学生から高校生、大人に至るまで、あらゆる世代の人達が、海を大切に思い、団結し努力していることを知ることができました。

私達は、海が健全であり続けるためには、森・里・川・海のそれぞれにおいて、人が生きていくための営みを保ちながら、人々が暮らしを通じて適切に関わり、水を介した森里川海の繋がりを維持することが大切であり、そして、これを守るためには、里海と里山とまちが人との流れで結ばれることが大切であることを学びました。

私達は、地球生態系のなかで生かされ、地球生態系は大きな物質循環の中で維持されています。水を介した森里川海の流れの終結点は海ですが、漁業という営みを通じて人が関わることで海から陸への回帰循環が生み出されます。

人は、自然の営みに頼らなければ生きていくことはできません。そして、自然を守り育むことこそ、人が生きていくための道筋です。

私達は、“全国アマモサミット2016 in 備前”を契機として、

一、私達の未来そのものである若者を育て応援します。

一、備前の歴史をつむぐ五感に訴える食の文化を継承し、訪れる人をもてなします。

一、「よーまー」なおばさん、互いに家族のような関係で「オセ」になる日生の懐の深い人の繋がりを礎に・・・。

そして、全国のまち・学術・NPOのネットワークをさらに広げ、里海・里山・まちが繋がる「備前発！里海・里山ブランド」を必ずや確立して発展させ、自然と人が共存するための有るべき姿を実現し、国内外に広く発信し続けることをここに宣言します。

全国アマモサミット 2016 in 備前参加者一同 / 実行委員会一同

アマモ場観察カヌー伝馬船 体験開催報告

- ◆日時：6月5日(日)
8時30分～17時
- ◆場所：日生「米子湾」、日生町漁協五味の市
- ◆参加者：55名
- ◆内容：アマモ場再生活動発祥の地・備前市日生町鹿久居島「米子湾」で、漁師さん、インストラクター、岡山県水産課の職員の皆様の指導・案内のもと、カヌー・伝馬船によるアマモ場観察、日生町漁協五味の市を見学しました。



カヌー・伝馬船体験の様子

- ◆参加者の感想
- ・カヌーや伝馬船から、実際にアマモが見られて、これが海のゆりかごと感激しました。とても大切な営みなんだと思います。日生の方々の30年にわたる地道な努力に敬意を表します。同時に若い方(後継者)も育てていただきたく、できることで協力したいと思いました。
- ・海にとって必要な物であることが理解できました。海が少しでもきれいになることを願っています。
- ・アマモのことを初めて、この機会に知りました。
- ・アマモをじっくり見て学ぶことができ、充実した企画でした。今後も活動を継続して欲しいです。
- ・楽しい体験を通じて、普段ふれあうことのないアマモについて学ぶことができました。
- ・間近でアマモが育っている様子が見られて感動しました。

大野川いきもの 調査会開催報告

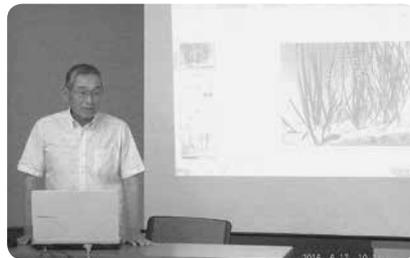
- ◆日時：6月12日(日)
19時～21時
- ◆場所：大野公会堂、周辺河川敷
- ◆参加者：54名
- ◆講師：岩城孝志氏(岡山野生生物調査会)他
- ◆内容：はじめに、講師からホタルの生態や大野川流域での昨年までの調査結果などのお話を聞き、その後、雨天の中3班に別れ、各班のリーダーの指導のもと、ホタルの出現数調査を行いました。
また、開会前には御津の「緑」と「清流」を守る会をはじめ、地元の方々に用意していただいた「いのししカレー」や「いのししバーベキュー」に舌鼓し、楽しいひと時を過ごしました。



岩城先生のお話の様子

笠岡アマモ再生教室 開催報告

- ◆日時：6月17日(金)
10時～12時
- ◆場所：笠岡市見崎集会所、海岸
- ◆参加者：15名
- ◆講師：森中憲治氏(神島寺間・見崎里浜づくり代表)
- ◆内容：はじめに、講師からアマモの役割や現地の状況等のお話を聞き、その後、海岸に移動し、船上からアマモ場を観察し、これまでの成果を確認しました。



森中先生のお話の様子

もったいない・ホタルバス ツアー2016開催報告

- 『ホタルをとおして考える
環境保全・4R』
- ◆日時：6月18日(土)
現地19時30分～22時
- ◆場所：北房文化センター、ほたる公園周辺
- ◆参加者：172名
- ◆講師：岩城孝志氏(岡山野生生物調査会)、小桐登氏(環境×スローライフ×CSR研究所)他
- ◆内容：はじめに、小桐氏から「蛍と一緒に考える4Rのお話」、続いて岩城氏から「ゲンジボタル・ヘイケボタル・ヒメボタルの生態と観察から」の講演があり、その後、4班に別れ、各班の講師の指導のもと、ほたる公園周辺のヒメボタルを中心に観察しました。



小桐先生の講演の様子

- ◆参加者の感想
- ・4Rなどについて楽しく学習でき、こどもと後で4Rの話がはずみました。
- ・ホタルともったいないのつながりが理解できました。
- ・個人でホタルを観に行くことと、学習会で説明を聞いてからの観察では、大きな差があると感じました。
- ・人間の手で壊した自然を人間の手で少しでも直していける希望を見ることができ、ありがたかったです。
- ・自然環境保全の大切さがよくわかりました。
- ・はじめてホタルをたくさん見れて感動しました。
- ・竹林を背景に、光で描く絵画のような、幻想的な世界を見せていただき、満足しました。

2016年度『市民のための環境講座』

日程	テーマ・概要	講師
7/30(土) 10時～	夏休み親子企画『ご家庭にある保冷剤を使って芳香剤を作ってみませんか?』岡山市では不燃物に指定されている保冷剤ですが、使い方や捨て方を工夫すれば環境にやさしく、リユースできます。身近なごみ問題について考えていきましょう。 ※ご家庭にある解凍済の保冷剤とはさみをご持参ください(無くても可)	(株)サンキョウ-エンビックス 神原直也氏、森平枝里香氏
8/3(水) 10時～	夏休み親子企画アマモ再生教室⑤ママカリ普及教室『ママカリの調理・試食を通して自然環境・海洋資源を考えよう』	ママカリ普及委員会代表・ 林宗男氏 ※会場：サンライフ笠岡
9/10(土) 13時～	『“海のゆりかご”と地球環境の関わり』沿岸域に分布するアマモ場は“海のゆりかご”として重要なだけでなく地球環境にとっても重要な役割を果たしています。最新の知見を交えながらアマモ場の多面的機能についてご紹介します。	NPO 法人里海づくり研究会 会議理事・田中丈裕氏
9/20(火) 10時～	『捨ててはいけない!～食品ロス問題を考える～』食品ロスの削減は世界的にも大きな課題となっています。私たちの行動を見直しどのように「食品ロス」問題に取り組むべきか考えます。	岡山市エコ技術研究会理事 ・稲見圭紅氏 ※会場：コープ総社東
9/24(土) 13時～	『藻場の生態系復元実証事業』海の生物多様性に及ぼすアマモ場の役割や機能、さらに藻場再生の取り組みを紹介します。	岡山県農林水産総合センター水産研究所研究員・中 力健治氏
10/1(土) 10時～	『気象に関する防災知識及び災害について』晴れの国(比較的災害が少ない)と言われている岡山県でも、地球温暖化の影響なども背景に、今後極端な気象現象の増加が懸念されます。自分の身は自分で守るために、気象に関する正しい知識を身につけましょう。	岡山地方気象台次長 松本行博氏
11/26(土) 10時～	岡山市生物多様性地域戦略タウンミーティング『里地・里山と生物多様性』岡山市より現状・課題、戦略案の説明を行い、意見交換します。どなたでも参加できます。	岡山市環境保全課
12/10(土) 13時～	『環境を知るための市民の化学 (Part2)』環境問題を考えるうえで必要な化学の基礎知識を伝授します。化学の苦手な人にもわかりやすいお話しです。	岡山理科大学名誉教授 野上祐作氏
1/28(土) 10時～	『環境問題は解決できるの?～会場参加型講座～』人々がライフスタイルを変えると環境問題は解決できるのでしょうか?環境問題の本質についていろいろな角度から理解を深め、参加者と議論しながら環境問題の解決策について考える会場参加型講座です。	吉備国際大学社会科学部教授 井勝久喜氏
2/25(土) 10時～	『児島湖の世界』締め切り後児島湖は急速に水質汚濁が進み、日本で最も汚濁の激しい湖の一つであり、最近では少しずつ改善しています。講座では水質の変化と四季折々の景観、その魅力について紹介します。	岡山大学名誉教授 青山勲氏

●会場：8/3(水)はサンライフ笠岡(笠岡市十一番町16-2)、9/20(火)はコープ総社東(総社市総社1370-3)
その他はオルガ(岡山市北区奉還町1-7-7)

●対象：小学生以上(小中学生は保護者同伴でご参加ください) ●申込：下記参加申込書をFAX・Eメール・郵便で送付ください。

●受講料：無料、必ず事前にお申込みください。定数(7/30・8/3のみ20名、他は40名)を超過し参加いただけない場合のみ連絡します。
※本講座は「岡山県生涯学習大学連携講座」として開催します。8/3(水)は生活協同組合おかやまコープ井笠エリア、9/20(火)は生活協同組合おかやまコープ備北エリア、11/26(土)は岡山市との共催で開催します。

※お寄せいただく個人情報は厳重に管理し、各種企画のご案内など当財団からの連絡以外の使用や第三者への開示などは行いません。



公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7

FAX: 086-256-2565

E-mail: kankyounet@okayama.coop

.....切り取り線.....

2016年度『市民のための環境講座』参加申込書 ※切り取って送付ください。

ふりがな 氏名							住所	〒
電話							携帯電話	
FAX							E-mail	
参加申込 日に○を	7/30	8/3	9/10	9/20	9/24			
	10/1	11/26	12/10	1/28	2/25			

ほたるの乱舞をめざして 第14回 おかやまホタルフォーラム

兵庫県立人と自然の博物館・八木剛氏による講演と、美咲並びに北房でホタルの保護、復活、再生をめざし活動している取り組み報告や、美咲町立加美小学校からの活動報告をとおり、自然環境保全活動の交流をすすめます。また、「美咲町仲好団地ホタル保存会」が保全に取り組む現地視察も行ないます。ホタルに関心のある方どなたでも参加できるフォーラムです。是非ご参加ください。

- ◆日時：2016年10月29日（土）10時30分～12時30分（現地見学・希望者のみ：13時～）
- ◆会場：美咲町公民館（美咲町打穴下448-4）、現地見学：美咲町仲好団地内川原
- ◆参加費：無料、要申込：FAX・メール・郵送で下記「参加申込書」を送付ください。
- ◆内容（予定）：

- 来賓挨拶：美咲町
- 基調講演：兵庫県立人と自然の博物館・八木剛氏
- 報告：美咲町立加美小学校・4年生生徒『水辺学習の報告』
- 報告：美咲町・仲好団地ホタル保存会・井上和治氏『仲好団地での保全活動』
- 報告：北房ホタルの文化推進継承の会・坂本信広氏
- 質疑応答：コーディネーター：おかやま環境ネットワーク代表理事・青山勲
- ※希望者のみ 13時～現地見学（美咲町仲好団地／現地解散）
- ・その他 各団体資料配布、会場内でのパネル展示、ホタル写真展示
- ・参加者には県内のホタルの概要や団体の取り組み、調査データなどをまとめた冊子『おかやまのホタルをよむ～市民によるホタルの保護～（100ページ）』を差し上げます。



ホタル団体活動報告集

- ◆申込：下記参加申込書を10月13日（木）必着で、FAX・Eメール・郵送で送付ください。
- ◆主催：公益財団法人おかやま環境ネットワーク
美咲町、千年の森づくりグループ
生活協同組合おかやまコープ美作エリア
- ◆後援：岡山県美作県民局

公益財団法人おかやま環境ネットワーク
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7 オルガ6F
FAX：086-256-2565 E-mail：kankyounet@okayama.coop

..... 切り取り

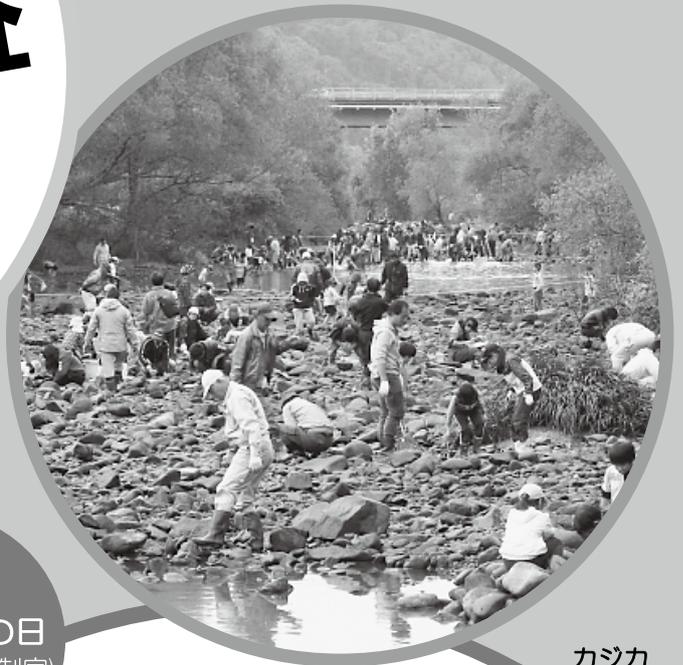
おかやまホタルフォーラム参加申込書 ※切り取って送付ください。

代表者	氏名			
	E-mail			
	電話		携帯	
	住所	〒		
	団体名			
参加者 ※上記以外の方	氏名		氏名	
	氏名		氏名	
	氏名		氏名	

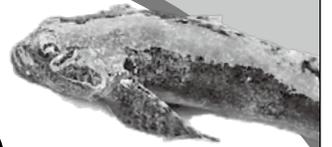
旭川 かいぼり調査 2016



アカザ



カジカ



●スケジュール●

9:00~12:00

受付、10時開会、かいぼり調査

12:00~13:00

生き物展示・解説、旭川の恵を販売

13:00~14:00

クリーンアップ、川を耕す、
調査のまとめ、閉会

11/1は
おかやま川の日
(岡山県内水漁連制定)

11月6日(日)

9:30~14:00 ※雨天決行

場所 竹枝小学校前の旭川

※駐車場は竹枝小学校グラウンドです

【申込み】建部町公民館

Fax 086-722-2160

E-mail takebekoumin@city.okayama.jp

※氏名・住所・連絡先を明記

【問合せ】

活性化協議会 090-8249-6053 (佐藤)

建部町公民館 086-722-2212 (延江)

参加費:100円

持ち物:長靴、軍手、お茶、弁当、
あれば水網とバケツ

★昼食時、アユ・川ガニ等の旭川の恵を
若干販売します。

主催:竹枝学区ふるさと活性化協議会・旭川かいぼり調査実行委員会、(公財)おかやま環境ネットワーク
岡山市立建部町公民館、旭川南部漁連、岡山県内水面漁連

協力:岡山理科大学、岡山淡水魚研究会、岡山野生生物調査会、岡山の自然を守る会、旭川流域ネットワーク、
建部町観光公社、めだかの学校、竹枝学区連合町内会、竹枝を思う会、佐藤建設工業所

2015年度事業・決算報告並びに2016年度事業計画・予算書同封について

会員の皆様におかやま環境ネットワーク「事業・決算報告事業計画・予算」冊子を同封しております。

2015年度全事業結果や決算関連書類、事業計画並びに予算書、役員名簿、定款等を掲載しておりますので、是非ご覧ください。

環境家計簿レポート同封について 気になる数字

おかやま環境ネットワークと岡山市とが協働ですすめています「環境家計簿活動」の2015年度実績をまとめた『環境家計簿レポート』ができあがりしましたので、会員とモニターの皆様と同封しています。ご査収ください。

富・白賀川の自然と文化を学ぼうのご案内 開催報告

- ◆日時：8月11日（木・祝）
8：00 オルガ前出発（北区奉還町）、9：20 真庭市役所出発
15：00 頃現地出発予定
- ◆内容：鏡野町白賀溪谷いきもの観察会、檜西和紙工房・森江製材所（水力製材所）見学
- ◆定員：40名 ※全員バスで移動します（現地参加不可）
- ◆応募資格：小学3年生以上の方、未成年者は保護者同伴、野外活動可能な健康な方。
- ◆参加費：1人500円、おかやま環境ネットワーク個人会員とその同居家族は無料、年会費2,000円
※昼食持参、別途弁当1,000円（税込）も注文できます。弁当のキャンセルは7月22日以後できません。
- ◆申込：7月22日（金）までに、参加者氏名、フリガナ、年齢、〒、住所、電話、携帯電話、おかやま環境ネットワーク2016年度個人会員かどうか（会

員・入会希望・会員でない）、集合場所（オルガ・真庭市役所）、弁当（お茶付・税込1,000円）の要（個数）・不要を、おかやま環境ネットワークまで、FAX・Eメール・郵便のいずれかでご連絡ください。

- ※申込必要事項に漏れがある場合、受付できませんので、必ず全項目漏れなくご連絡ください。
- ※応募者多数の場合は抽選。抽選の結果、及び当選者には詳細案内を郵送します。

瀬戸内海のいきものとアマモが育てる環境学習会のご案内

- ◆日時：8月26日（金）
8：40 いうえエヴァホール岡山（中区平井）、9：10 コープ西大寺出発
12：30 頃現地出発予定
- ◆内容：岡山県農林水産総合センターでの学習会と見学、浜辺観察会
- ◆定員：40名 ※全員バスで移動します（現地参加不可）
- ◆応募資格：小学3年生以上の方、未成年者は保護者同伴、野外活動可能な健康な方。
- ◆参加費：1人500円
- ◆申込：7月22日（金）までに、参加者氏名、フリガナ、年齢、〒、住所、電話、携帯電話、集合場所（いうえエヴァホール岡山・コープ西大寺）を、おかやま環境ネットワークまで、FAX・Eメール・郵便のいずれかでご連絡ください。
- ※申込必要事項に漏れがある場合、受付できませんので、必ず全項目漏れなくご連絡ください。
- ※応募者多数の場合は抽選。抽選の結果、及び当選者には詳細案内を郵送します。
- ※昼食時間はありませんが、バス内での飲食はできますので必要な方はご準備ください。
- ◆主催：生活協同組合おかやまコープ岡山東エリア くらし応援委員会（操南）

『ホタル団体交流会』のご案内

9月24日（土）10～12時、オルガ5階会議室にて。県内各地の取り組み交流等をすすめます。どなたでも参加できます。

※申込要：事前に氏名、住所、電話番号、所属団体名（個人の場合は不要）をおかやま環境ネットワークまでご連絡ください。

役員の変更について

6月11日開催の評議員会にて、下記役員が選任されました。

●就任

- ・河本 志津恵 評議員
- ・榊 誠司 業務執行 理事
- ・齋藤 達昭 理事
- ・阪田 祐作 理事
- ・田中 丈裕 理事

●退任

- ・上甲 啓一 業務執行 理事
- ・赤坂 光俊 理事

会員 募集中

おかやま環境ネットワークは、皆様からの会費、寄附、ボランティア活動で支えられています。ぜひ会員となり、活動をご支援ください。

【年会費】

- 個人・団体：2,000円
- 企業等：20,000円
- 大学生・大学院生・高校生：無料

.....
 ・2016年度会費を納付いたでない皆様には振込用紙を同封してありますので、お振り込みください。ますよう、お願いいたします（入れ違いでお振り込みいただきおりましたらご容赦ください）。

発行：公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026
 岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)
 TEL/FAX:086-256-2565
 携帯電話:070-2355-1420
 E-mail:kankyounet@okayama.coop
 HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/